

# 大 幡

<INNOVA>



一年前の今頃は創立四五周年事業を控えて組織全体が動き出す、そういった時期であったと記憶しています。この周年事業は一年前より準備特別委員会が設けられたり、多くの方々をお招きし様々な企画をもってお持てなしをしたり多くのメンバーの力が必要な事業であると共に組織に対する熱い想いが結集する事業でもあります。私は創立三五周年時に入会し所属が総務委員会であったことから、理事会の場で周年事業が創り上げられる過程を見させて頂いた経験があります。そのときの理事メンバーの組織に対する大変な熱い想いを感じ、驚いたのを感じています。その後二回の周年事業を体験してきましたが、この熱い想いはメンバーが替わっても脈々と受け継がれており、四五年の活動の中で組織にビルトアップされ連続と継続されてきた特徴であると確信するに至っています。時にこれは活動テーマに対する情熱となつて、毎年強い信念のもと委員長を中心にするらしい委員会事業となつて企画実施されているのだと思います。これは一朝一夕では出来ない当会議所の良き伝統であると思います。

過日無事に終わりました鳥取こどもまつりは当会議所の前半を代表する事業であります。少年野球大会等につづいての鳥取市との共創で始まり、以来毎年欠かすことなく参画し今年で三十回を迎えました。創設当時の想いは「今どきの子どもが出来なくなっている素晴らしいことをやらせてあげよう」ということであつたと思ひますし、これは全く今でも変わっていません。委員会ではそういった原点に立ち返り、特に本年度はテーマとして「昔あそび」の有効性を見だし、非常にこだわりをもったコーナー運営が出来たと思ひます。大きなフィールドの中でメンバー全員が最高のインストラクターとなつて、子どもと本気で遊びそして保護者を巻き込んでその意義を体感してもらいながら楽しく行うことが出来ました。また、入会一、二年目のメンバーのほとんどが参加し、三十年間つづいて春の、伝統の事業の盛り上がり多くのメンバーで共有できたことは本当に有り難いことだと感じています。

一般に組織であれ事業であれ、続いてきたことには必ず創始の哲学、意義が存在するように、JC活動の原点はまちに對する熱い想いであり、これらは途絶えることなく先人から我々現役に引き継がれてきた素晴らしいものだと思います。

いよいよ五月であります。我々の伝統である「熱い想い」のもと、各委員会がますます活発となり、素晴らしい活動が行われますことを願ひします。

2005/vol.05 2005年5月18日 発行

## スケジュール

- 5月23日(月) 5月青雀会(19:30~アポロ)
- 5月29日(日) ふれあい広場
- 6月4日(土) ブロックスポーツ大会(1日目)
- 6月5日(日) ブロックスポーツ大会(2日目)
- 6月8日(水) ブロック会頭公式訪問例会(東伯)
- 6月19日(日) 第2回じゃがいも(委員会対抗戦 旭国際、白兔コース 9:00集合)
- 6月22日(水) 6月定例会(19:00~ ホテルニューオータニ鳥取)



4月青雀会報告 青雀会 幹事 山本竜

4月25日(月) こどもまつりの翌日ではございましたが大変お疲れのところ、真っ赤に日焼けしたメンバーにお集まりいただき4月青雀会が開催されました。

優勝は堂々10万点を越え、雀鬼かと思わせた日本一誇り創造委員会の濱岡浩之君です。

おしゃれなネクタイが印象的で、景品であつた綺麗なお花を持ち、その後何処に行かれたのかと思ひますとジェラシーです。

さて、常連メンバーの優勝が目立つ前半の青雀会、5月は若いメンバーの方に初優勝めざしぜひ参加していただきたいものです。

また、麻雀初心者の方、幹事が優しくレッスンいたします♪



## 理事会報告

- 審議事項
- (1) 5月定例会次第(案)承認の件
  - (2) 出向人事(案)承認の件
    - ①環境立県民会議
    - ②平成17年度(第41回)鳥取しゃんしゃん祭り振興会
    - ③鳥取観光コンベンション協会
    - ④袋川をはぐくむ会
  - (3) その他
- 協議事項
- (1) (仮称)チャレンジウォーキングin因幡 ~2泊3日の夏物語~ 事業計画(案)の件
  - (2) その他
- 報告事項
- (1) 各委員会
  - (2) 出向理事
  - (3) その他
- 次回開催日の確認 [ 2005年6月14日(火) ]

### 青雀会成績表

順位	名前	委員会	1月	2月	3月	4月	合計
1	たまひよ博士(松本)	人間力	18100	119400	25100		162600
2	(浜岡)	日本一			-1800	118200	116400
3	ビーレブチャ-島津2004(島津)	会員交流	26100	43500		30900	100500
4	大木林太郎(大林)	地域経済			82500		82500
5	ワクワク温泉(涌本)	四役	65500	10100	-8800	11500	78300
6	腕白でもい浜大(浜崎大輔)	まちの輪	4900		68100		73000
7	(山下祐)	新因幡宝		-15200		62700	47500
8	お水のテキーラ(水野)	四役	22200	30400	-39000		13600
9	デュークコアベ(安陸)	総務	-3600	28400	-22400		2400
10	(谷口)	新因幡宝			100		100
11	フルーティー山根(山根一)	新因幡宝	-16200				-16200
12	ラーメン小池さん(小池)	人間力			-30200		-30200
13	がんばれ、タブチくん(田瀬)	総務	20100		-50900		-30800
14	ポッキー松島(松島)	まちの輪		-53200	19300		-33900
15	ルパン妹尾(妹尾)	人間力	-22300	-17900	-15800	18700	-37300
16	(戸田)	総務	-32400		-8100		-40500
17	泣きの竜(山本竜)	青少年	-44100				-44100
18	ボブ加藤(加藤)	新因幡宝	-19900	-16300	12700	-20800	-44300
19	ウド紙器(今川)	四役	-7200	13200	-54700		-48700
20	新星!豪(西垣)	総務	-54500				-54500
21	ゆるぎないヒロシ(岡村)	循環型	-11200	-57900	33000		-81700
22	ファッションブル山崎(山崎)	循環型			-8100	-165000	-173100

### ひよこ

順位	名前	委員会	1月	2月	3月	4月	合計
1	(山根康)	日本一			55900		55900
2	泣きの竜(山本竜)	青少年		4400		49200	53600
3	(星山)	まちの輪			33500		33500
4	麺・単品!青山(青山)	総務		29900			29900
5	ミスター清水(清水)	四役			24600		24600
6	(井関)	まちの輪			12500		12500
7	昇る旭に輝く三谷(三谷)	総務			10400		10400
8	(山根和也)	青少年			10000		10000
9	(有本)	青少年			500		500
10	マイブラ誠ファン(縦?、横?)(西尾)	新因幡宝	-1100	32200	-33000	-2100	-4000
11	花のみやこ(山根雅子)	人間力		-7200			-7200
12	(井上)	メディア			-23900	14900	-9000
13	(森田智)	まちの輪			-10900		-10900
14	(大月)	総務	-1000	-3900	-6600		-11500
15	ピンヒール・キミリン(寺垣)	会員交流		-7900		-8900	-16800
16	今いーか!株師(今井)	新因幡宝		-17100			-17100
17	何だっけい?文系(田中文)	青少年			-21900		-21900
18	腕白でもい浜大(浜崎大輔)	まちの輪				-53300	-53300
19	(杉本)	新因幡宝	-7900	-30400	-41100		-79400

## 連綿性

理事長 涌本 知彦



2005年度日本JCスローガン "JC New Generation" 新たな日本の夢に向かって

(社)鳥取青年会議所 会報誌

Tottori Junior Chamber Inc.2005 JC report

2005年鳥取JCスローガン

静と動

~あらまほしき因幡をめざして~

2005年重点方針

市民協働によるまちづくりの実現  
リーダーづくりアクションの実施

URL <http://torijc.hal.ne.jp>

# 第三十回こどもまつり開催

「こどもまつりを終えて」

因幡こどもまつり実行特別委員会  
委員長 山下浩史

四月二十四日第三十回目になる鳥取こどもまつりが開催されました。今回は、開催に至るまで青年会議所としても積極的に事務局サイドに対して働きかけを行い、私自身、実行委員会の会長という役職をいただき、市と一緒に頑張って当日に向けて一生懸命取り組んでまいりました。当日は天候の心配も全くなく多くの子どもたち、親子連れで賑わう中、大きな事故もないうちに無事終了いたしました。外で遊ぶ子ども達が少ない「遊び教室&パネル展」そして全体企画としてJICが提案させていただき、旧町村から参加を頂いたジグの味鳥取テント村」どちらも来場者の方々に大変喜んでいただけたと思います。しかし、それは委員会メンバーやその他の参加協力を頂いたメンバーの方々のお陰と心から感じています。委員長である私は実行委員会の会長という立場上、なかなかJICのコーナーだけに張り付いていることも出来ず、副委員長は家庭の事情で当日残念ながら現場に来られず、そんな状況下ですべては皆様のお陰と心から感謝するとともに、やはりJICの連帯感はずいといと改めて感じました。一日となりました。最後に改めてご協力を頂いた全ての方に心からの感謝を申し上げます。こどもまつりが今後より楽しく、有意義な事業となることを祈りつつ、今回の感想とさせていただきます。有難うございました。



第30回 鳥取こどもまつりを終えて  
因幡こどもまつり実行特別委員会  
委員 田中健一



去る、四月二十四日(日)爽やかな青空の中、とつとり出合いの森にて開催されました。鳥取市の合併の事もありませんが、実行委員会も進まない中、山下浩史委員長と事務局の鳥取市こども科学館の先導により各協力団体の皆様とスムーズに運営が行えました。さて我々JICのブースは、昔あそび教室と題してゴムとび・田の字・ぐるぐるジャンケン、手つなぎオニ・ポルダッシュの5つの昔あそびを行いました。開会式直後は何処のあそびコーナーも閑散としていましたが、10分・20分経つにつれて子供たちの姿も増えて歓声や笑顔でも知らず知らず笑顔が溢れていました。そしてジケの味「鳥取テント村」も昼時になると長い行列が出来て出店者の皆さんも大忙しの様子でした。来場者の皆様には楽しくそして懐かしく思ってもらいたく、晴らしたかったです。会場での子供達の笑顔は素晴らしい思い出が出来ました。ありがとうございました。



鳥取こどもまつりに参加して  
因幡こどもまつり実行特別委員会  
委員 徳田 章子

四月二十四日、初めてこどもまつりに参加させて頂きました。当初は、いきなり研修会員達で企画、実行をするように言われた時は気が遠くなるような思いでした。しかし諸先輩方からのアドバイス、指導を頂き無事終える事が出来ました。又、今回の事で初めて研修会員同士で連絡を取り合い、協力し合い、団結出来たことが、とても大きなイベントであり、JICが社会へ貢献していく中で自分も参加できたことは大変貴重な経験の一つになりました。

これから自分の委員会も本番をむかえます。更に活動的に自分ができるように、又自己満足で終わらないよう本来の意図を考えていきたいと思

鳥取砂丘一斉清掃参加報告  
新因幡の宝発信委員会  
委員長 西尾 誠

四月十七日(日)、春の鳥取砂丘一斉清掃が行われ、当日は初夏に近いような晴天の下、快適に作業ができました。ともかく広大な鳥取砂丘ですが、清掃区域は団体ごとに振り分けられており、私たち鳥取青年会議所は砂丘道路の一部と、そこから海岸部、海沿いに馬の背の下へ向かうコースを担当しました。いつもは車で通過するばかりで、一見きれいな砂丘道路ですが、実際に歩いてみると煙草の吸い殻等が多数落ちており、道路から奥まったところにはイシ等の粗大ゴミまでも見受けられる状況でした。これらはいかに普段から清掃を徹底しておくかが重要であり、ゴミを捨てさせない雰囲気をつくっておくかが課題と言えましょう。今後の市民一人ひとりの意識が問われるところですよ。

また、それら人々の善行以外にも異変は見受けられました。久しぶりに歩いた海岸部の崖が波で侵食されており、数十センチの小さな崖のようになっているのです。風よけの柵を設けて植物を植える等、対策らしき事もあったのですが、今後の変化が心配です。通常のコースとは外れ、普段は見られない砂丘の姿を知る事が出来たと思います。他団体との出会いも含め、来年には更に新しい発見があることでしょう。

道州制のメリットデメリット  
中国地区協議会 地域力創造委員会  
委員 山本 竜

まず道州制を論ずるときに、論ずる観点を気をつけておかなければいけません。財政が厳しくなると政府から道州制が出てくる。そういう歴史的背景があります。財政が厳しくなったから絞りたい、そのときに束ねてしまえば効率化されるという発想から出てきます。したがって、道州制で分権とか国のありかたを変えようとか、きれいなことはつきますが、政府から出てきてくるのは、やはり財政を絞りたいということが根幹にあるので、その流れに乗って本当にやっていいのかというのを疑問に思います。市町村合併がそうだったように、結果から見ると、同じ文脈です。

では道州制の議論はすべきでないとか反対かと言うわけではなく、財政を絞りたいためと、このような観点からの道州制論議ではなく、本当に今の日本の国のありかた、中央集権で国に集中し過ぎている今の日本の構造が今のままでいいのかというところから議論するのならば、いいと思います。

地域経済活性化委員会 公開セミナー 報告書  
委員長 福田 俊史

風薫る四月十六日(土)鳥取シティホテルにおいて、石破茂衆議院議員、鳥取県企画振興課長 須藤明夫氏、観光課長 木村敬氏、景観まちづくり課長(補佐)八幡徳弘の4名のゲスト講師をお迎えし、地域経済活性化セミナー「姫島線開通後の鳥取経済展望」を行うことになりました。

当日は午後2時30分という中途半端なスタートにも関わらず、オプザバーとして鳥取商工会議所、鳥取商工会議所青年部の姫島開通委員会の皆様、そしてJICからは我が委員会以外からも浦本理事長をはじめとする多くのメンバーのご参加を頂、総勢30名での開催となりました。

まず第一部では石破代議士から「姫島開通後の鳥取経済の予測について、現在の鳥取県のあらゆるデータをもとに、鳥根県の浜田道開通時におけるストロー現象の実態、これからの住民提案による政策実現の手法(行政、政治の使い方など)ユーモアを交えた語り口であったという間の1時間でした。

第二部では、いよいよ委員会のテーマである「景観を活かした観光政策」について、我が委員会の一連の事業計画(案)を説明し、県の3名の課長からご意見を頂きました。まず県に新しく新設された景観まちづくり課の八幡氏より、昨年6月に国が制定した「景観法」という新しい法律の説明後、鳥取の観光パンフレット等、これからの対外広報についての意見交換。最後に企画振興課の須藤氏からは「JICの事業でも、個人の仕事でも、国の法律や県の制度で阻害要因があれば、どんな特区提案等して頂きたい。国の法律も県の制度も地域住民や民間企業に促して頂くためにある。」との事。

第二部でのご意見交換では、県のマニュアルや、マスコミ報道では得られない貴重なお話を新しい発想に参加者すっかり引き込まれ、大変有意義な議論が展開されました。いずれにせよ県の課長には、我々の事業計画(案)一連のアクション)を理解して頂き、協力を惜しまない事を約束頂いた訳であります。本年我が委員会は国や県の法律や制度を最大限に活用し、市民・行政を「協働」する形を目指しています。

今回のセミナーは一過性のものではなく、我々の一年間の活動のスタートとして捉えています。「因幡の景観を観光政策へ」そして地域の活性化へを合言葉に観光と役割を分担しながら、政策実現に向け全力で取り組む所存であります。最後に当日参加頂きました皆様、心から感謝を申し上げます。公開セミナーの報告とさせていただきます。

外交と防衛と金融とマクロ経済とぐらいて、あとは全部地方でやるというような国のありかた、できれば連邦制とか、中央政府の解体再編論から始めるべきです。

ところが今行われている道州制論議というのは、道府県合併論の延長みたいなもので、基本的に道州に分権が進む国家のありかただと思

それは中央政府から地方政府である道州に権限が移るということ、したがって中央政府の役割機能がぐつと小さくなるということ、それは中央政府と道州との間だけではなく、道とか州の中でも同じように極度の分権が進むべきだと思

移るということになると政府や州政府はなくて人口の多いところと道政府や州政府はなくてよく、人口が多いところに役所を置かなければいけないという事は、やはり不便な世の中で、違かたら不便です。これは、みんながたきん住んでいて、どこに置いておけば多くの人が便利だと思

逆に言えば、遠くの人は不便だけど、それは少数だから我慢してもらおうということ。そうではない、もうみんな役所なんか行かなくていい、道庁なんか行かなくていいという仕組みにすれば、どこに置いてもいいわけ。そうすれば、災害リスクの問題とか、それから居住環境の問題であるとか、そこからすれば、小都市に置きたい、と思

## おめでとう



3月26日に人間力開発委員会委員長 小池誠君に真優ちゃんのご誕生です。おめでとうござ

## おめでとう

四月九日に人間力開発委員会 委員 高藤大祐君に潤君のご誕生です。おめでとうござ



## おめでとう

四月二日に因幡こどもまつり実行特別委員会副委員長 松本寿一君に、ご長男悟志君のご誕生です。おめでとうござ



これが本当に分権が徹底した社会のありかただと思います。中央政府の解体論が始まる道州制論議が具体化して、中国地方でまとまるということなら、州政府をいけば、津和野に置くとか、倉吉でもいいかもれません。小さいところに置くのもいいと思います。そうならば、どこに役所を置くのかと、綱引きは起こらないと思います。日本の市町村合併で綱引きが起ったのは、まだ不便な時代を前提にしていたからではないでしょうか。

## 拡大特別委員会アワー

くやれば出来るみんなの力で会員拡大、  
2005年度 拡大特別委員会  
委員長 藤木 巧

今回の拡大特別委員会アワーを通して、メンバーの皆様にも少しでも会員拡大の重要性を伝えていき、将来素晴らしい組織になるための皆で力をあわせて、会員拡大が出来るときへの場にしたたいと考えました。そして今一度会報誌を通して皆様に、会員拡大の大切さが伝われば幸いです。お待ちしております。

まず始めに、組織やメンバーの資質の向上について考えたいと思います。青年会議所には、平等に4つの機会があります。「人間力開発の機会」、「まちづくりの機会」、「ビジネス」の機会、そして「友情」を育む機会です。われわれは、その4つの機会を使って、将来自分になるべき目標とする自分に成長しなければなりません。そして、地域社会の発展に寄与するというJICの目的を達成しなければなりません。このこと自体が、最終的には会員拡大につながっていくのです。この4つの手段を使って自分自身の資質を高め、積極的な変化を作り出す自身の青年を育成することが青年会議所の使命です。逆に言うと、これが出来ていれば、会員拡大も確実に実績を伴ってくるということです。なぜならば、「青年会議所」として「公益法人」として、「社会開発運動」を実践していかなければなりませんし、それ自体が、会員拡大につながっていくからです。また、先ほどの「積極的な変化」を作り出す「能力」を有するメンバーが「拡大」を行って失敗することがあるでしょうか。そして、「JIC活動」の基本をしっかりと共有化した上で、4つの機会をフルに活用して、「積極的な変化」を作り出せるメンバーにならなくてはなりません。つまりメンバーの成長こそが最大の会員拡大なのです。

そして私達、一人一人が青年会議所のメンバーであることを誇りに思い、自覚をもって日々活動をしていけば、組織に対して興味を持っていただける人がたくさん増えていくと思

「最先端の組織」にかっこいい組織をメンバー一人一人が考え行動することが会員拡大の近道と考えます。すなわちJICの究極の活動は会員拡大であり、その会員拡大を成功させるために日々地域において実践する人間と社会の開発こそが究極のJIC運動ではないでしょうか。

ここで少し頭の中に入れておかなければならないことがあります。それは会員拡大はもちろんですが、まず退会者を作らないことです。なぜなら組織を理解して入会してもらわなければい

お互いのコミュニケーションが大切です。初めに経験すること、組織のルールなど新しい会員は分からないことだらけです。分からないという事はとても不安なこと。是非メンバーがお互いの声を掛け合い組織を語り合いたし。そして、先輩後輩のコミュニケーションです。青年会議所は二〇歳〜四〇歳まで幅広い年齢と、青年会議所入会人数があります。活動において悩みを持つているメンバーやプライベートの悩みなど普段では話せないことがあります。在籍年数が長いメンバーには、JIC活動で困った時の対処法や、プライベートなどは、年齢が上の先輩に話をしてみてはいいかがでしょうか。ストレスや悩みがあると思い通りの活動が出来なくなり

そして最後に、同期入会者とのコミュニケーションです。(社)鳥取青年会議所は年2回入会時期があります。自分の同期入会者は同時にスタートラインに立ち色々な経験をします。そして一生の友になりうる存在です。他のメンバーよりも長い時間接している分、お互いの気持ち

会員拡大に話に戻りますが、ここでは短期的にアクションを起し現状の入会見込み者をリストアップしていくことを考えていきたいと思

と思います。私たちは青年会議所メンバーは、他人よりも人と出会う回数が多すぎ、人脈も多いはず。この利点を最大限に活用すれば必ず良い結果が生まれるはず。そしてOBの訪問を行うこと。私達は四五年の歴史を持ち、約400名卒業された先輩がおられます。自ら青年会議所活動をされる経験してきた先輩だからこそ、会員拡大に心から協力していただけたらと思います。先輩方の情報やアドバイス聞き、今後の会員拡大や組織の進化継承に役だてられると思

今までも何人かの人の出会いがありましたか? 今までに何回泣き、笑い、感動しましたか? 今まで何人の人に助けられましたか? もう一度に何人の人に声をかけ、JICに入会して理屈ではなく本物の想いが伝わった時に、人は心動かされます。

5年後、10年後を想像してみてください。そして、5年後、10年後の創造のために。副委員長連絡会議について  
2005年度 拡大特別委員会  
副委員長 鳥羽 明彦

L0M内のJIC活動で初めての役割となる副委員長、委員長をサポートしながら委員会メンバーを取りまとめていくといった多忙な役割です。しかしながらその反面、委員会全体の流れが分か